



## B コマンド

---

この章では、B で始まる、Cisco NX-OS ファイバ チャンネル、仮想ファイバ チャンネル、および Fibre Channel over Ethernet (FCoE) のコマンドについて説明します。

# bind

仮想ファイバチャネル インターフェイスにインターフェイスをバインドするには、**bind** コマンドを使用します。インターフェイスのバインドを解除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
bind interface {ethernet chassis-id/slot/port | port-channel channel-no | vethernet veth-num}
```

```
no bind interface {ethernet chassis-id/slot/port | port-channel channel-no | vethernet veth-num}
```

## 構文の説明

<b>interface</b>	仮想ファイバチャネル インターフェイスをバインドするインターフェイスを指定します。
<b>ethernet</b>	仮想ファイバチャネル インターフェイスを、指定されたイーサネット インターフェイスにバインドすることを指定します。
<i>chassis-id</i>	ファブリック エクステンダ シャーシ ID。有効なシャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。
<i>slot/port</i>	イーサネット インターフェイスのスロット番号とポート番号を指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。  (注) インターフェイスを仮想ファイバチャネル インターフェイスにバインドし、Cisco Nexus 2232P ファブリック エクステンダで Fibre Channel over Ethernet (FCoE) トラフィックをイネーブル化した場合、スロット番号は 1、ポート番号は 1 ~ 32 です。
<b>port-channel</b> <i>channel-no</i>	仮想ファイバチャネル インターフェイスを、指定された EtherChannel インターフェイスにバインドすることを指定します。EtherChannel 番号の範囲は 1 ~ 4096 です。
<b>vethernet</b> <i>veth-num</i>	仮想ファイバチャネル インターフェイスを、指定された仮想イーサネット インターフェイスにバインドすることを指定します。仮想イーサネット インターフェイスの番号は 1 ~ 1048575 です。

## コマンド デフォルト

ディセーブル

## コマンド モード

仮想ファイバチャネル インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。
5.0(2)N1(1)	<b>bind</b> 、 <b>description</b> 、および <b>shutdown</b> コマンドは <b>interface vfc</b> コマンドから分離されました。
5.1(3)N1(1)	このコマンドのサポートが、ポートチャネルのメンバポートのバインドを許可するように拡張されました。  このコマンドのサポートが Cisco アダプタ ファブリック エクステンダ (Adapter-FEX) に追加されました。

## 使用上のガイドライン

仮想ファイバチャネル インターフェイスにバインドするイーサネット インターフェイスまたは EtherChannel インターフェイスは、トランク ポートである必要があります。

仮想ファイバ チャンネル インターフェイスを仮想イーサネット インターフェイスにバインドする前に、**feature-set virtualization** コマンドを使用して、スイッチ上で Cisco アダプタ ファブリック エクステンダ (Adapter-FEX) をイネーブルにする必要があります。

**例**

次に、イーサネット インターフェイスに仮想ファイバ チャンネル インターフェイス 3 をバインドする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/1
switch(config-if)# switchport mode trunk
switch(config-if)# exit
switch(config)# interface vfc 3
switch(config-if)# bind interface ethernet 1/1
switch(config-if)#
```

次に、仮想ファイバ チャンネル インターフェイス 2 を仮想イーサネット インターフェイスにバインドする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface vfc 2
switch(config-if)# bind interface vethernet 100
switch(config-if)# exit
switch(config)# interface vethernet 100
switch(config-if)# bind interface ethernet 101/1/1 channel 5
switch(config-if)#
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>bind</b> (仮想イーサネット インターフェイス)	インターフェイスを仮想イーサネットにバインドします。
<b>fcoe</b>	ファブリック エクステンダで FCoE トラフィックをイネーブルにします。
<b>feature-set virtualization</b>	スイッチで Cisco 仮想マシン機能をイネーブルにします。
<b>interface vfc</b>	仮想ファイバ チャンネル インターフェイスを設定します。
<b>show interface vfc</b>	指定の VFC インターフェイス、属性、およびステータスを表示します。

# bind mac-address

MAC アドレスに仮想ファイバ チャンネル インターフェイスをバインドするには、**bind mac-address** コマンドを使用します。インターフェイスのバインドを解除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**bind mac-address** *mac-address*

**no bind mac-address** *mac-address*

## 構文の説明

*mac-address*                    MAC アドレス。EEEE.EEEE.EEEE の形式を使用します。

## コマンド デフォルト

ディセーブル

## コマンド モード

仮想ファイバ チャンネル インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N2(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature fcoe-npv** コマンドを使用して、スイッチ上で Fibre Channel over Ethernet (FCoE) N ポート バーチャライザ (NPV) がイネーブルであることを確認します。このコマンドには、FCoE NPV ライセンスが必要です。

## 例

次に、MAC アドレスに仮想ファイバ チャンネル インターフェイス 3 をバインドする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface vfc 3
switch(config-if)# bind mac-address 0050.3e8d.6400
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>interface vfc</b>	仮想ファイバ チャンネル インターフェイスを設定します。
<b>show interface vfc</b>	指定の VFC インターフェイス、属性、およびステータスを表示します。